

## 防府山の会 5 月例会 韓国岳(1700m)・高千穂峰(1573m)登山報告書

記録 N.U

- ◇日 程 2022 年 5 月 14 日(土)~15(日)
- ◇費 用 11,000 円
- ◇交通機関 レンタカー (ハイエースグランドキャビン 10 人乗り)
- ◇宿 泊 霧島緑の村 0995-57-0364 バンガロー(6 人)5,670 円/棟×2 棟
- ◇参加者 E.N(CL,DR)、M.K、U.N(記録,DR)、  
K.K(食事)、Y.S(食事、会計)、Y.Y、M.R、N.H

## ◇アプローチ

- 〈行き〉5/14(土) 防府市役所(6:00)→秋穂東→〈山陽道〉→由良 IC(6:35)→北九州 JCT→〈九州道〉  
→えびの IC(10:40)→えびの高原駐車場(11:10)
- 〈帰り〉5/15(日) 高千穂河原駐車場(10:00)→霧島神宮温泉あかまつ荘→溝辺鹿児島空港 IC(12:00)  
→〈九州道〉→溝辺 PA(12:20)→広川 SA(14:40)→下関 JCT→〈山陽道〉  
→由良 IC(16:47)→秋穂東(17:00)→防府市役所(17:30)

## ◇コースタイム

5/14(土) 韓国岳

えびの高原 P(11:40)…韓国岳登山口(11:46)…韓国岳(13:14~13:40)…えびの高原 P(15:40)

5/15(日) 高千穂峰

高千穂河原 P(6:30)…御鉢火口跡(7:30)…高千穂峰(8:25~8:35)…御鉢火口跡(9:00)  
…高千穂河原 P(10:00)

- ◇持ち物 マスク、水、スポーツドリンク、昼食行動食、雨具、スマホ、コンパス、地図、傘、  
タオル、シュラフ、防寒着、ヘッドランプ、帽子、ストック、登山のできる服装など

- ◇共同装備 消毒用アルコール、救急薬、ETC カード

## ◇山行報告

5 月 14 日(土) 快晴

午前 6 時、市役所上の臨時駐車場に男性 3 名女性 4 名集合。ハイエースグランドキャビンに乗り  
途中秋穂東で Y.Y さんが乗車、鹿児島県と宮崎県の県境に位置しているえびの高原に向けて出発。山  
陽道から九州道と快適に走り、11 時過ぎ爽やかな風が吹くえびの高原第一駐車場に到着。何と、数  
日前の雨予報に反して天気が好転、見上げれば霧島ブルー。同駐車場脇で軽く昼食を済ませトイレと  
準備運動をして登山開始。道路を渡るとすぐに韓国岳登山口、鮮やかな新緑と小鳥のさえずりを頭上  
に聞き、ミヤマキリシマ、ノリウツギ、リンドウなどの山野草に癒されながら快適に歩く。12 時半  
真新しい避難小屋が 5 合目、その後も気持ちよく汗を流し 13 時過ぎ日本百名山の韓国岳(1,700m)到  
着。眼下に大浪池さらに錦江湾の奥に霞んだ桜島も望まれた。圧巻だったのが、南東方向に見える巨  
大な火口から所々白い噴煙を上げる新燃岳(1,421m)、最新噴火が 2018 年。その左奥に見える秀麗な  
山容の高千穂峰(1,574m)は神話と信仰の山。13 時半名残惜しいが下山の時間、一旦大浪池に向けて  
下山するが木製の急階段がどこまでも続く。途中登ってくる登山者とすれ違ったが、このルートを登  
るのは難儀するだろう。下山ルートに選んでくれた榎本リーダーに心の中で感謝し、時折色鮮やかな  
ツツジにも癒された。途中ぬかるんだ登山道もあったが、15 時 40 分無事に第一駐車場に戻ってきた。  
同駐車場から 20 分くらい走って霧島緑の村到着 16 時 10 分。大きな建物に広い緑地広場があり、別  
棟の温泉施設と 4 棟のバンガローが建っていて、その内の 2 棟を予約している。受付を済ませ早速缶  
ビール等を冷蔵庫に入れ、皆で手分けして夕食の準備、炊飯・調理・盛り付け・洗い物、テーブルの  
準備など手際が凄くいい。17 時過ぎまだまだ日は高いが豪華な夕食に笑顔と会話が弾み、缶ビール  
に缶チューハイさらにワインもあり、スープカレーやポテトサラダ他を美味しく頂いた。ご飯は明日  
の朝と昼食用としてわかめ入りオニギリにした。別棟の源泉かけ流しの温泉も清潔で良かった。二段  
ベッド二組のバンガロー、窓が開いているのを知らずに就寝、毛布 2 枚/一人だが途中寒くてシュラ  
フに入った。翌朝女子組から室内は暖かったと聞いた。

5月15日(日) くもり一時小雨

霧島緑の村バンガロー午前5時起床、新たにパンとヨーグルトも添えられて豪華な朝食。しっかり食べて手早く後片付けとトイレ等を済ませ、荷物を車に積み込み高千穂河原駐車場へ向けて出発。6時半霧島神宮の大きな鳥居をくぐると、登山口から暫く石段が続く。石段が終わると、小石交じりの歩き難い砂利道に代わり、次にポコポコした火山岩群の間を縫って登ると、ようやく火口の縁に立つ。樹林帯を抜けた辺りから大株小株のミヤマキリシマを愛でながら登ってきた。右手に巨大な御鉢火口跡を見てさらに歩を進めると、正面に高千穂峰の頭が見え、その左斜面は凄く優美だが、近づくにつれ巨大な崩落跡の色模様が何だか不気味な感じがした。少し下った鞍部に立派な鳥居が見えてくる。皆で今日の安全登山をお祈りし、正面に見える最後の急登に取りつく。喘ぎながら登る先、突き立った天の逆鉾が見えてくると山頂が近い。ここまで登山道や両脇の斜面さらに火口跡にまで、至る所ミヤマキリシマの株が凄く多いのには驚いた。盛りは6月だそうだが、すでにピンクの小ぶりの花を咲かせている株も少なくない。1000mを超えるこのような荒れ地にミヤマキリシマやマイヅルソウ(極小)が見られるのだそうだ。8時25分広い山頂の天の逆鉾の前で集合写真、見回すと避難小屋に携帯用トイレブースもあった。いつものように三角点タッチをし、曇天だが遮るもののない大展望を満喫していたら小雨がポツリ。また、遥か彼方の桜島(御岳 1117m)と大隅半島の大篋柄岳(おおのがらだけ:1236m)のほぼ中央付近、目を凝らしてみると綺麗な三角形の開間岳(924m)がうっすらと確認できた。その後も時々パラパラと小雨、下山途中も少し降ったり止んだりし、おまけにガスまで被ってきて山上の視界が無くなってきた。早立ちをして正解、午前10時高千穂河原駐車場に戻ってきた。その後は霧島神宮温泉あかまつ荘で入浴(400円)シャワーの温度調節にコツがいる。JAスタンドで給油(177円/L)をして溝辺鹿児島空港ICから九州道に入り溝辺PAで昼食。広川SA→下関JCT→由良IC→秋穂東で山本さん下車、防府市役所に無事到着した(17:30)。

火山岩の僅かなくぼみに根を張り可憐な花を咲かせている山野草に感動。韓国岳山頂直下の巨大火口跡を覗くと恐ろしかった。E.Nリーダー天候に悩まされたと思うけど、やはり晴れ男だったね！山も自炊宿泊もチームワーク良く楽しい山旅だった。特に霧島ブルーが素晴らしく韓国岳山頂から見た巨大な火口から所々噴煙上げる新燃岳や高千穂峰の展望に魅了された。見る事が出来ないかとも思っていたミヤマキリシマにも会えた、いつの日か満開の時に登ってみたいと思う。お疲れ様！

◇歩行記録(ジオグラフィカ)

